

●越谷市地域魅力共創参画事業業務委託企画提案選考会に関する質問内容及び回答

NO.	該当箇所	質問要旨	回答案
1	仕様書5.(1)、(2)	ワークショップの成果の公表は、市のウェブサイト、ワークショップの企画内容、実施の様子及び参加者のアイデアの取りまとめ等を成果として掲載するという認識でよろしいでしょうか。	ワークショップ成果の公表と市内外への効果的な情報発信については①沿線を利用して首都圏に通勤・通学する10代～50代の若者世代・現役世代、および②越谷市内在住者とし、ターゲットに訴求効果の高いコンテンツ(映像、冊子等)が望ましいと考えています。その媒体や内容は提案によります。なお、ワークショップの内容や結果については市ホームページほか、SNS等での情報発信を行うことを想定しています。
2	仕様書5.(1)、(2)	上記(NO.1)のとおりとした場合、当該ウェブページをどのような構成とするかは、受託者の提案を踏まえ、市と協議して制作するという認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
3	仕様書5.(1)	市のこれまでのシティプロモーションに係るワークショップの参加希望者(応募者)の大まかな人数、応募倍率をご教示ください。	令和7年度はワークショップを定員20名で2回実施しました。1回目の応募は15人、2回目の応募は24人でした。合計での応募倍率は0.975倍でした。
4	仕様書5.(2).(1)	プロモーションのターゲット①については、出発地は越谷市内の駅であるか否かを問わず、かつ、通勤・通学先は首都圏内であれば足りるという認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
5	仕様書5.(2)	プロモーションの実施時期については、履行期限、ワークショップの実施時期との兼ね合いの他に、条件はございますか。	令和9年2月実施予定のシティプロモーションイベント内でワークショップの成果コンテンツの活用を想定しています。
6	仕様書5.(2).(1)	アの②越谷市内在住者 その中でターゲットはございますか。全年代が対象という理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりですが、①のターゲットを優先します。
7	仕様書5.(2)	ワークショップ成果コンテンツを活用したプロモーションの実施に際して、市の方で具体的なKPI等は設定しておりますでしょうか？	実施するプロモーション手法により、KPIも異なると考えているため提案によります。なお、KPIの先にはロジックモデルに基づくmGAPの向上を目指しております。
8	仕様書5	本事業で向上を目指す「修正地域参画総量指標(mGAP)」について、現状値をご教示いただくことは可能でしょうか。	令和7年度 実績値4566.6です。
9	仕様書5.(1)	mGAP向上を求めています。成果指標としてどの程度の向上や改善を期待しておりますでしょうか。	成果指標(mGAP)は数値の継続的な上昇を目標値としています。
10	仕様書5	本事業の成果評価において、市が重視するKPI(参加者数、コンテンツ閲覧数、SNSリーチ数、関係人口創出数、シビックプライド指標等)があればご教示ください。	実施するプロモーション手法により、KPIも異なると考えているため提案によります。なお、KPIの先にはロジックモデルに基づくmGAPの向上を目指しております。
11	仕様書5.(2)	ワークショップ参加者15名程度とありますが、最低開催人数や定員超過時の運営方針について市のお考えをご教示ください。	応募状況に応じて委託事業者様と協議のうえ決定します。
12	仕様書5.(1)	ワークショップ参加対象は市内在住・在勤・在学者となっておりますが、年齢構成や属性(若者世代中心など)について市として優先したいターゲットはありますか。	若者世代、現役世代(10代～50代)を優先したいターゲットとしています。
13	仕様書5.(1)	ワークショップ全4回程度とありますが、4回は必須でしょうか。それとも同等以上の成果が期待できる場合は回数変更も提案可能でしょうか。	提案により変更も可能です。
14	仕様書5.(1)	ワークショップ開催日時について、平日夜間・休日など市として想定している時間帯があればご教示ください。	平日の夕方以降や休日など多くの方がより参加しやすい日時を想定しております。令和7年度はワークショップでは平日の午後6時半～午後9時、土曜日の午後1時～午後4時で実施をしました。
15	仕様書5.(1)	市が保有する公共施設を会場として利用する場合、利用可能施設の候補があればご教示ください。	市役所の会議室、中央市民会館、各地区センター、越谷レイクタウン水辺のまちづくり館などが候補です。
16	仕様書5.(1)	参加者募集において、市の広報媒体等を活用するとありますが、具体的に利用可能な媒体(広報紙、ホームページ、SNS、LINE等)をご教示ください。また、市の広報媒体の発行スケジュール(予定)と各校了日等についてもご教示ください。	広報紙、ホームページ、X、Instagram、LINE、Cityメールで告知予定です。広報紙については掲載月の前月の初週に文案を作成し、最終週の前半まで校正を行い、校了となります。
17	仕様書5.(1)	参加者への謝礼・交通費等の支給について、市としての考え方や制約はありますか。	参加者への謝礼や交通費は想定していません。
18	仕様書5.(2)	成果コンテンツについて、特に想定される形式(動画、冊子、WEBコンテンツ、SNS投稿素材等)はありますか。	成果コンテンツの形式についてはターゲットに訴求効果の高い形式とし、提案によります。
19	仕様書5.(1)	プロモーションにおいて、市が運営するSNSアカウントや広報媒体との連携は可能でしょうか。また連携可能な媒体をご教示ください。	連携は可能です。媒体は広報紙、ホームページ、X、Instagram、LINE、Cityメール、YouTubeを想定しています。
20	実施要領10④	提案書のページ数制限や推奨構成はありますか。	指定はありません。